

『湖沼の環境改善』

■日時:平成11年11月25日(木)10:00~17:00

■会場:琵琶湖研究所ホール(滋賀県大津市)

■主催:日本生命財団

■後援(予定):環境庁、滋賀県、石川県、琵琶湖研究所

日本水環境学会、日本陸水学会、国際湖沼環境委員会

<プログラム>

●開会挨拶(10分) 日本生命財団 理事長 小林 幹司

●研究報告(代表研究者総括報告10分、研究報告30分)

琵琶湖チーム研究報告

代表研究者総括報告

「琵琶湖北湖の水質形成過程解明に関する研究」

京都大学大学院 工学研究科 教授 宗宮 功

研究報告1.

「河川による流域から琵琶湖への流入汚濁負荷量の大きさとその流入特性」

摂南大学 工学部 教授 海老瀬 潜一

研究報告2.

「水質形成に関わる流れの物理過程」

岡山大学 環境理工学部 助教授 大久保 賢治

研究報告3.

「琵琶湖生態系の動態と生態系管理の課題」

滋賀県立大学 環境科学部 教授 坂本 充

河北潟チーム研究報告

代表研究者総括報告

「河北潟の環境改善－水質と生態系－」

石川県農業短期大学 教授 井村 光夫

研究報告1.

「河北潟における水の収支と栄養塩類の動態について」

石川県農業短期大学 助教授 桶 敏

石川県農業短期大学 講師 皆巳幸也

研究報告2.

「河北潟底質の分解特性と農業利用の可能性」

石川県農業短期大学 助教授 田知本正夫

研究報告3.

「トンボが舞う豊かな水辺環境復元のために

－トンボの生息場所としてみた水草群落について－」

石川県農業短期大学 教授 上田哲行

●総合討論(100分) 報告者全員

コーディネーター

大阪大学大学院 工学研究科 教授 村岡 浩爾

(敬称略)